

ホテル・旅館のバリアフリー化の現状等に関するアンケート調査結果

- ・ 施設管理者関係団体に属するホテル・旅館及び団体に属さない大手チェーンのホテル・旅館に対して、バリアフリー客室の数等に係るアンケート調査を実施した。

<調査概要>

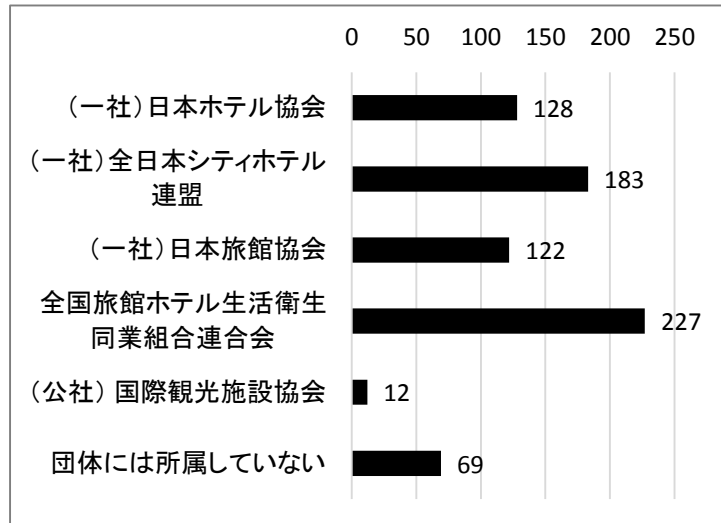
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理者関係団体（（一社）ホテル協会、（一社）全日本シティホテル連盟、（一社）日本旅館協会、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（当該旅館ホテル組合））に属するもののうち、Eメールによる回答が可能なホテル・旅館 ・ その他の非会員系ホテル、旅館：数社
配布方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国交省から、各団体・会社を經由して依頼状・調査票（エクセル形式）をEメール配布 ・ 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（当該旅館ホテル組合）所属のホテル・旅館については、国交省から依頼状を配布し、調査票は事務局HPよりダウンロード
回収方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として、事務局宛てのメールにより回収
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎情報、建物基礎情報 ・ 共用部分のバリアフリー化状況 ・ バリアフリー客室の有無、情報提供・予約方法、タイプ別の室数・広さ、整備時期・整備手法 ・ 高齢者、障害者等の利用しやすい客室の有無、タイプ別の室数・広さ ・ 今後のバリアフリー客室、高齢者、障害者等の利用しやすい客室の整備予定 ・ 客室全体、バリアフリー客室、高齢者、障害者等の利用しやすい客室の平均稼働率 ・ 備品の貸し出しや高齢者、障害者等への配慮状況
回答期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2017年10月18日～12月31日 (開始・終了時期は、団体・会社によって若干異なる。)
回収数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 606施設

<調査結果> (n: 回答施設数)

A. 事業者基礎情報

問2 団体への所属状況

■ 団体への所属状況別施設数 (n=606、複数回答)

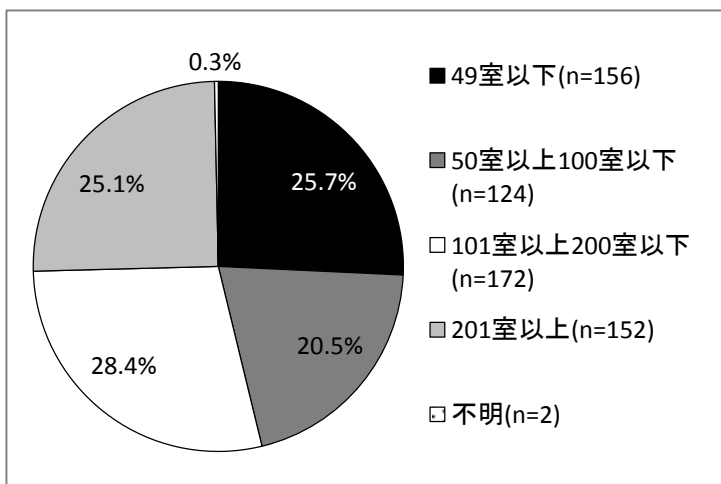


B. 建物基礎情報

問3 総客室数

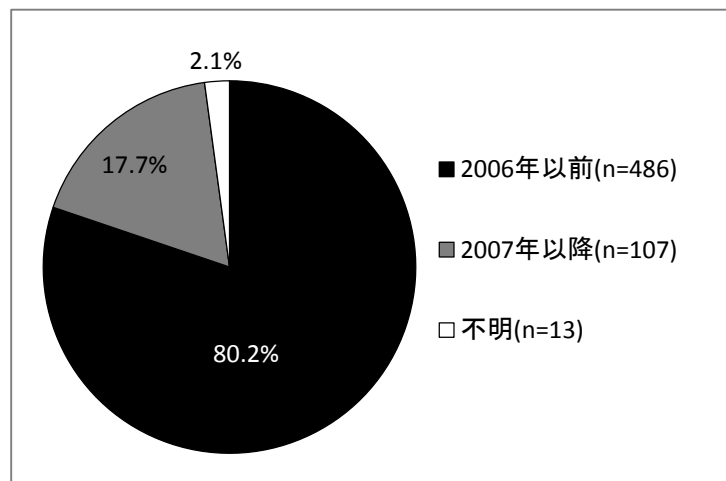
- ・ 101室以上200室以下が最も多く(28.4%)、次いで49室以下が多い(25.7%)。
- ・ 606施設の総客室数は、102,766室である。

■ 総客室数別の割合 (n=606)



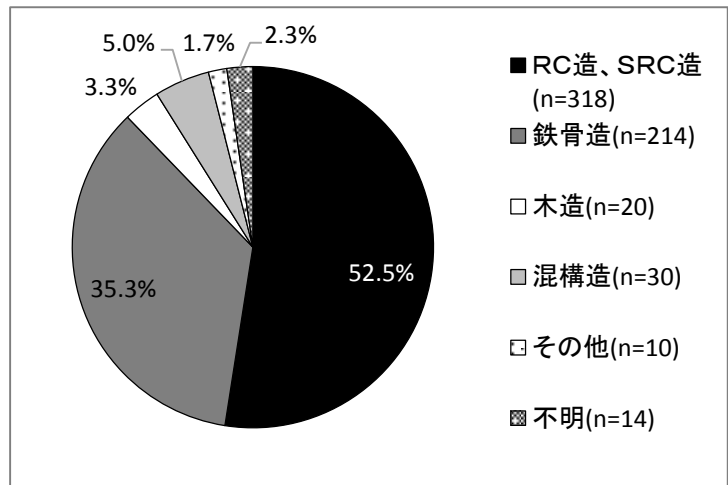
問4 開業年 (※本館、新館等がある場合は、最も古いものの開業年)

■ 開業年別の割合 (n=606)



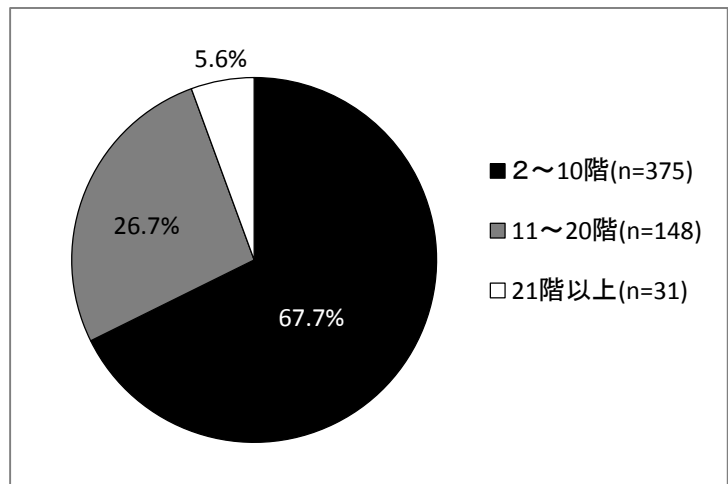
問 5 建物の構造

■ 構造別の割合 (n=606)



問 6 建物の階数

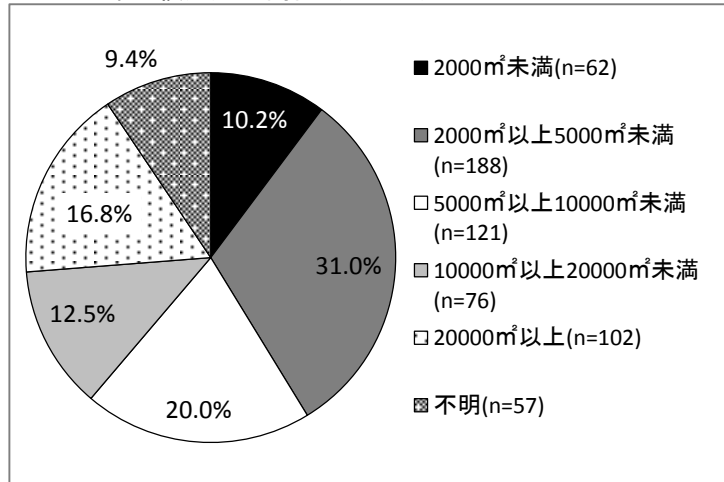
■ 階数別の割合 (単独施設の場合、n=554)



問7 建物の延床面積等

- ・ 建物の延床面積は、2,000 m²以上5,000 m²未満が最も多く(31.0%)、次いで5,000 m²以上10,000 m²未満が多い(20.0%)。
- ・ 606 施設(総客室数 102,766 室)の、1室あたりの平均客室面積は21.6 m²である。

■ 建物延床面積(複合施設の場合には他の施設等を除く延床面積)別の割合(n=606)

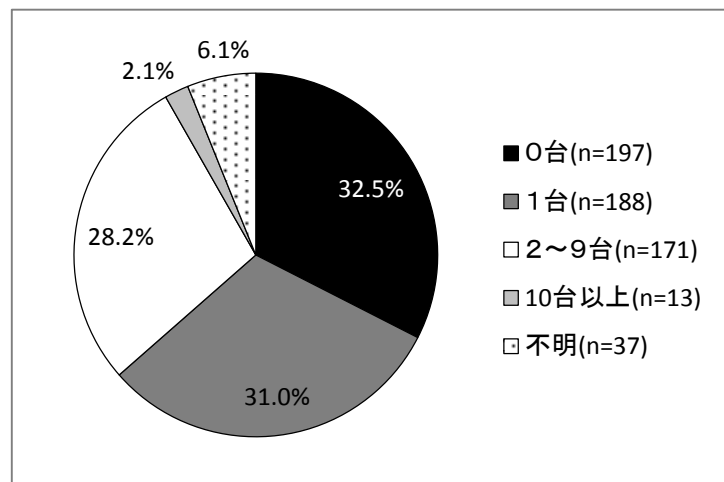


C. ホテル・旅館の共用部分

問8 車いす使用者用駐車場

- ・ 0台が最も多く(32.5%)、次いで1台が多い(31.0%)。

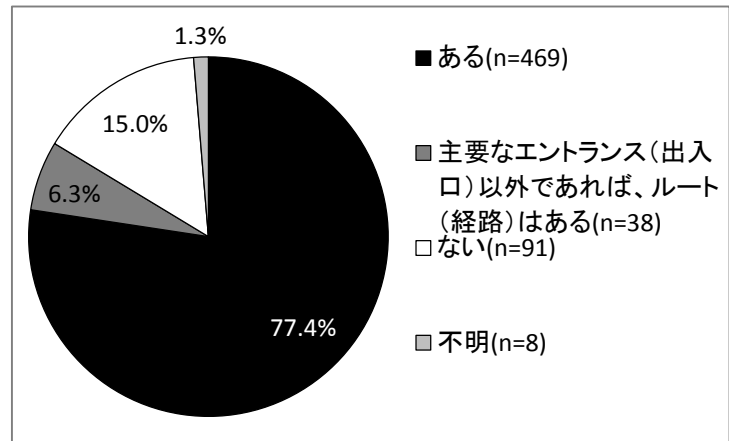
■ 車いす使用者用駐車場台数別の割合(n=606)



問 9 屋外の通路・建物の主要なエントランス（出入口）からフロント・ロビーまで、車いす使用者が支障なく到達できるルート（経路）の有無

- ・ ルート（経路）が「ある」が最も多く（77.4%）、次いで「ない」が多い（15.0%）。

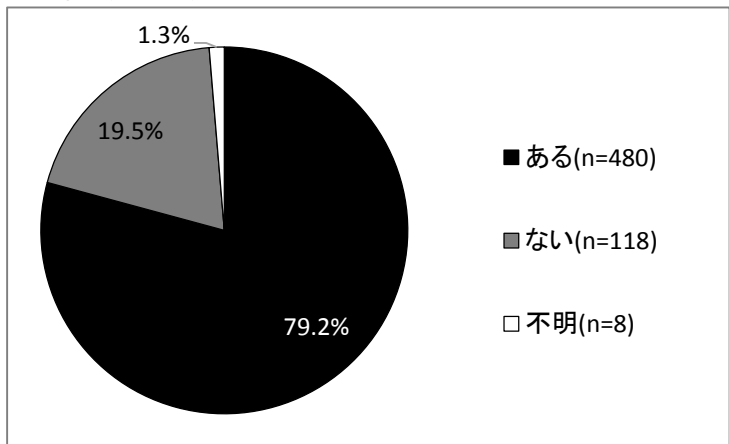
■ 屋外の通路・建物の主要なエントランス（出入口）からフロント・ロビーまで、車いす使用者が支障なく到達できるルート（経路）の有無別の割合（n=606）



問 10 車いす使用者が利用可能なレストラン・食堂の有無

- ・ 車いす使用者が利用可能なレストラン・食堂が「ある」が最も多く（79.2%）、次いで「ない」が多い（19.5%）。

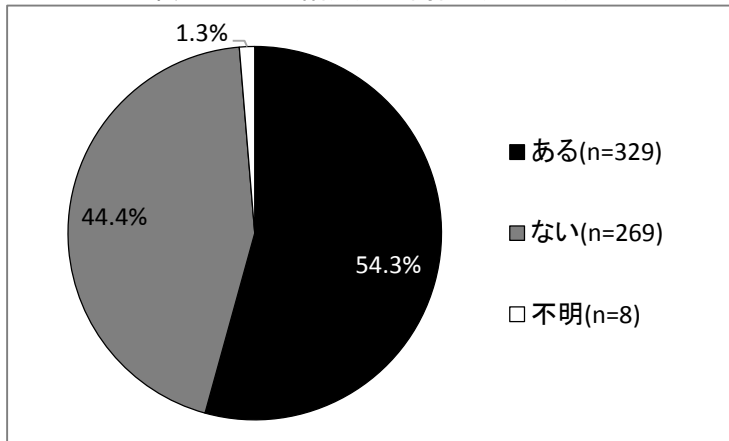
■ 車いす使用者が利用可能なレストラン・食堂の有無別の割合（n=606）



問 11 車いす使用者が利用可能なトイレの有無（レストラン・食堂の内部、又は同一階）

- ・ 車いす使用者が利用可能なトイレ（レストラン・食堂の内部、又は同一階）が「ある」が最も多く（54.3%）、次いで「ない」が多い（44.4%）。

■ 車いす使用者が利用可能なトイレの有無（レストラン・食堂の内部、又は同一階）別の割合（n=606）

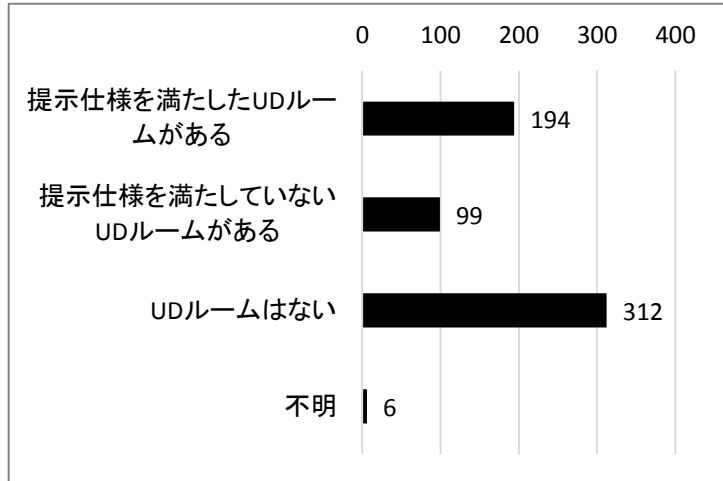


D. 客室

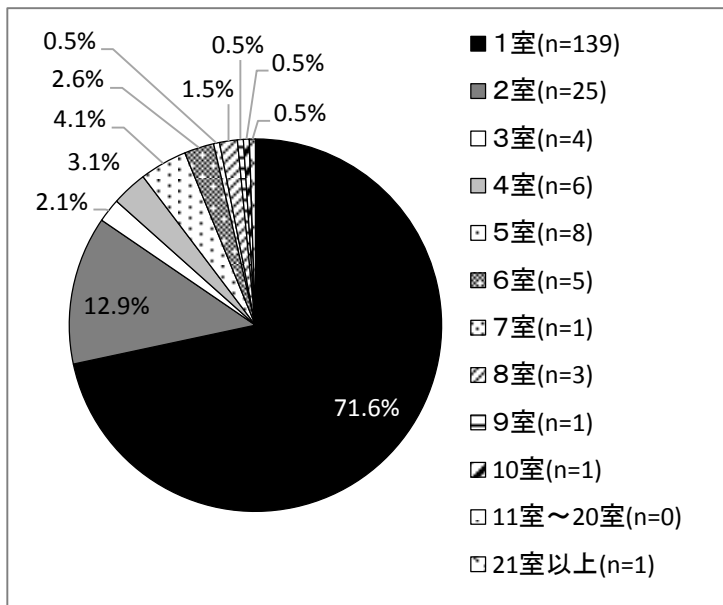
問 12 『バリアフリールーム』・『ユニバーサルルーム』等の UD ルームの有無、及び UD ルームの客室数

- UD ルームの有無については、「UD ルームはない」が最も多く (312)、次いで「提示仕様を満たした UD ルームがある」が多い (194)。
- 提示仕様を満たした UD ルームの数については、「1 室」が最も多く (71.6%)、次いで「2 室」が多い (12.9%)。

■ UD ルームの有無別施設数 (n=606、複数回答)



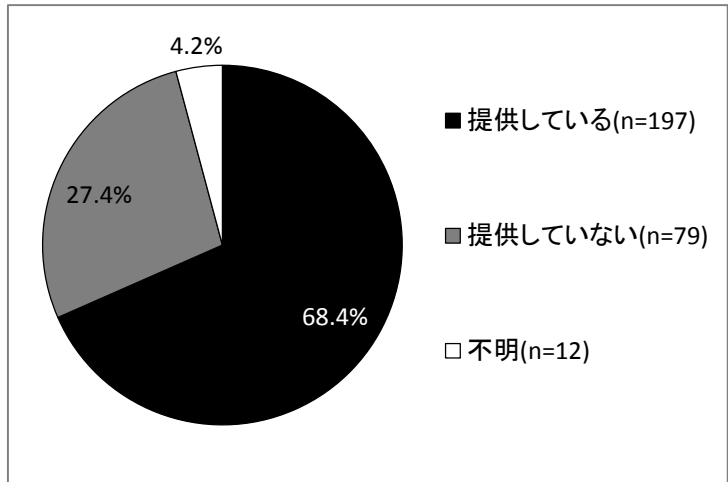
■ 提示仕様を満たした UD ルームの客室数別の割合 (n=194)



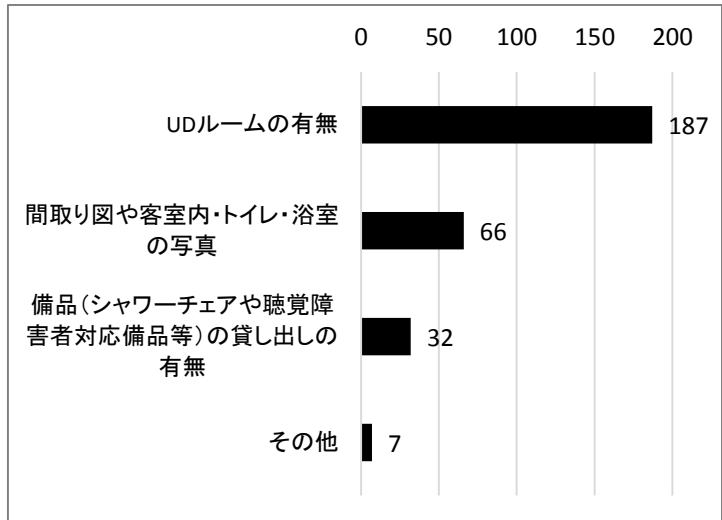
問 13 UD ルームに関する情報提供（UD ルームのある施設のみ回答）

- UD ルームに関する情報を「提供している」が最も多く（68.4%）、次いで「提供していない」が多い（27.4%）。
- UD ルームに関する情報提供の内容は、「UD ルームの有無」が最も多く（187）、次いで「間取り図や客室内・トイレ・浴室の写真」が多い（66）。

■ UD ルームに関する情報提供の有無別の割合（n=288）



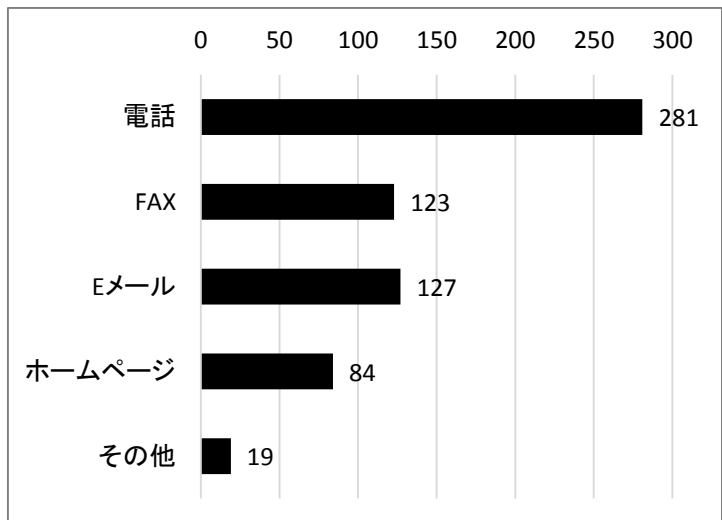
■ UD ルームに関する情報提供の内容（n=288、複数回答）



問 14 UD ルームの予約方法

- UD ルームの予約方法は、「電話」が最も多く（281）、次いで「Eメール」が多い（127）。

■ UD ルームの予約方法（n=288、複数回答）



問 15 UD ルームのタイプ別室数、広さ、代表的な整備時期と整備手法（提示仕様を満たす UD ルームがある施設）

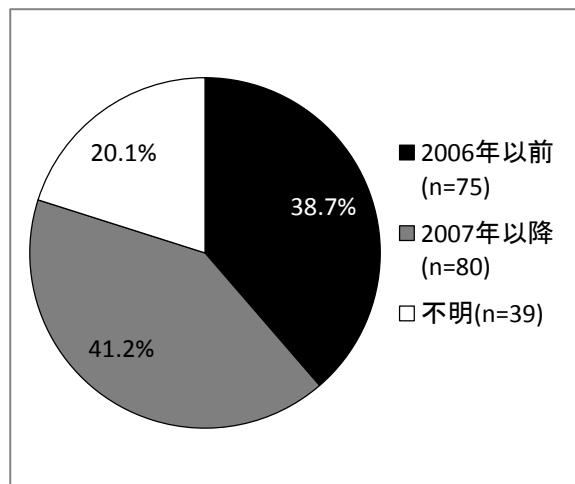
- ・ タイプ別に見ると、「ツイン」が最も多く（213 室、平均面積：33.2 m²）、次いで「和洋室」が多い（54 室、平均面積：60.5 m²）。
- ・ 主な UD ルームの整備時期は「2007 年以降」が最も多く（41.2%）、次いで「2006 年以前」が多い（38.7%）。
- ・ 整備手法は「新築」が最も多く（46.9%）、次いで「改修」が多い（30.9%）。

■ UD ルームのタイプ別数、広さ、代表的な整備時期と整備手法（n=194、複数回答）

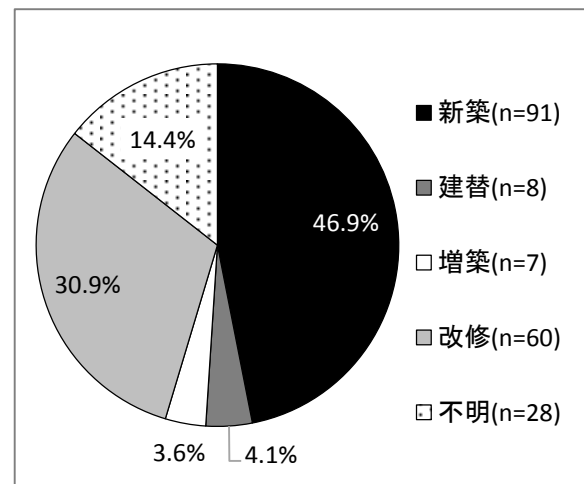
タイプ	客室数（368 室）	代表的な室の広さ	
		m ² （平均）	畳（平均）
シングル	10	25.5	-
ツイン	213	33.2	15.8
ダブル	35	27.1	-
和室	12	-	13.5
和洋室	54	60.5	17.0
その他	38	33.0	-
不明	6	-	-

※代表的な室の広さは、回答のあったもののみ集計、平均の算出を行っている。

■ 主な UD ルームの整備時期別の割合（n=194）



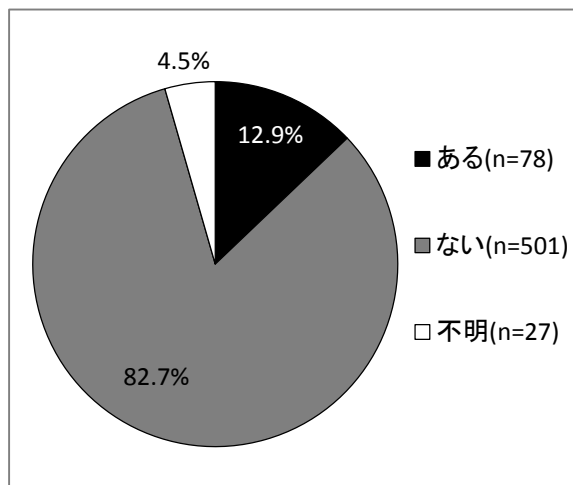
■ 主な UD ルームの整備手法別の割合（n=194）



問 16 高齢者、障害者等の利用しやすい客室の有無等

- ・ 高齢者、障害者等の利用しやすい客室が「ない」が最も多く（82.7%）、次いで「ある」が多い（12.9%）。
- ・ タイプ別に見ると、「ツイン」が最も多く（1,891 室、平均面積：31.9 m²）、次いでダブルが多い（800 室、平均面積：31.2 m²）。

■ 高齢者、障害者等の利用しやすい客室の有無別の割合（n=606）



■ 高齢者、障害者等の利用しやすい客室の数、広さ（n=78、複数回答）

タイプ	客室数 (3,327 室)	代表的な室の広さ	
		m ² (平均)	畳 (平均)
シングル	239	19.2	10.0
ツイン	1,891	31.9	8.2
ダブル	800	31.2	20.0
和室	137	30.1	13.3
和洋室	139	53.3	16.9
その他	121	63.0	15.0

※客室数と代表的な室の広さは、回答のあったもののみ集計、平均の算出を行っている。

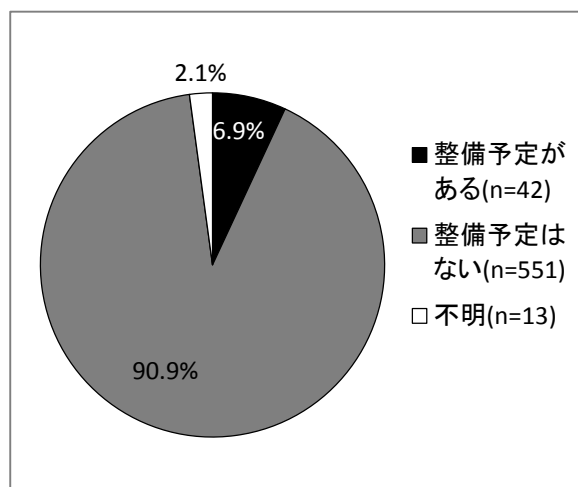
E. 今後の客室整備予定

問 17 UD ルームや高齢者、障害者等の利用しやすい客室の整備予定（今後およそ 5 年以内）等

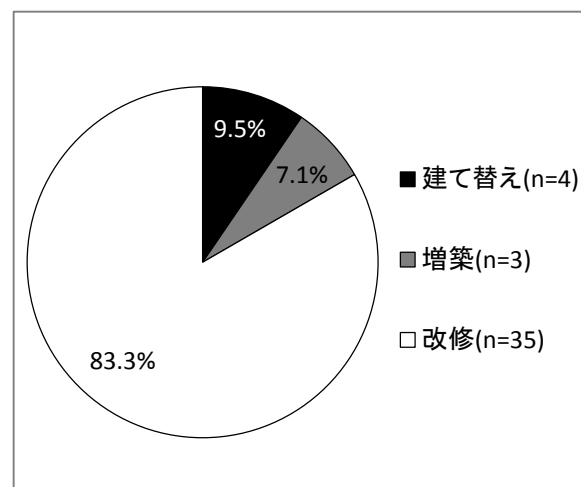
① UD ルーム

- ・ 「整備予定はない」が最も多く（90.9%）、次いで「整備予定がある」が多い（6.9%）。
- ・ 「整備予定がある」施設における整備手法を見ると、「改修」が最も多く（83.3%）、次いで「建て替え」が多い（9.5%）。
- ・ 整備時期を見ると、「2020 年以前」が最も多く（57.1%）、次いで「不明」が多い（33.3%）。
- ・ 整備予定室数は「不明」が最も多く（35.7%）、次いで「1 室」が多い（19.0%）。

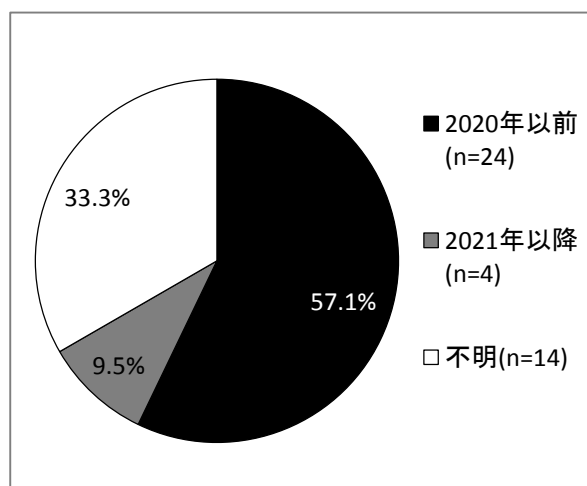
■ UD ルームの整備予定別の割合（n=606）



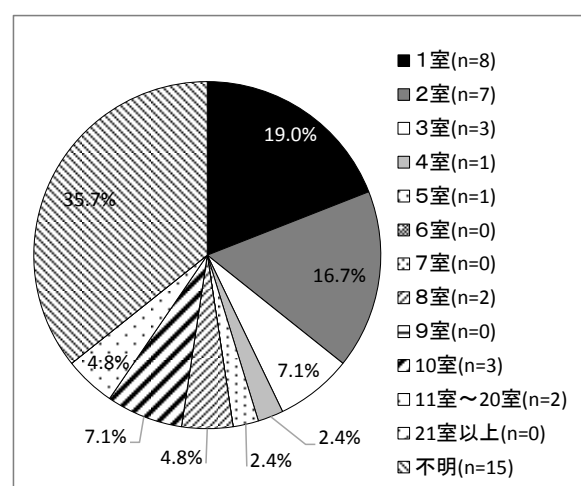
■ UD ルームの整備手法別の割合（n=42）



■ UD ルームの整備時期別の割合（n=42）



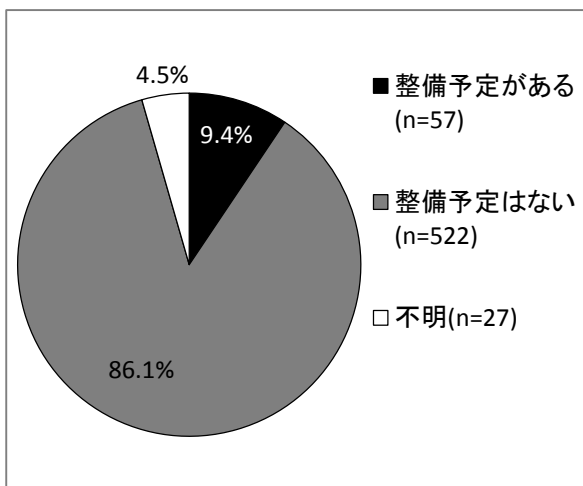
■ UD ルームの整備予定室数別割合（n=42）



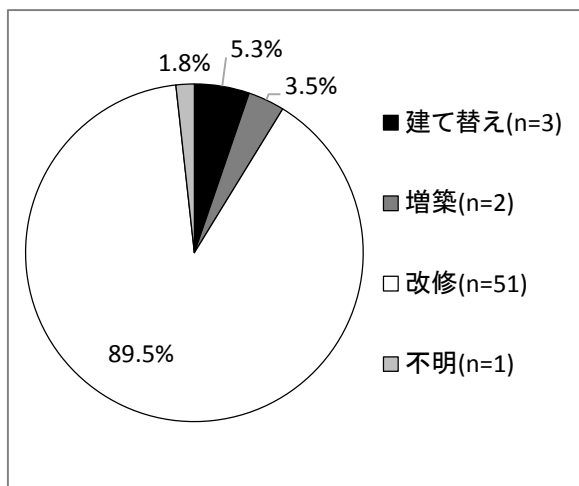
② 高齢者、障害者等の利用しやすい客室

- ・ 「整備予定はない」が最も多く（86.1%）、次いで「整備予定がある」が多い（9.4%）。
- ・ 「整備予定がある」施設における整備手法を見ると、「改修」が最も多く（89.5%）、次いで「建て替え」が多い（5.3%）。
- ・ 整備時期を見ると、「不明」が最も多く（47.4%）、次いで「2020年以前」が多い（45.6%）。
- ・ 整備予定室数は「不明」が最も多く（47.4%）、次いで「10室」が多い（15.8%）。

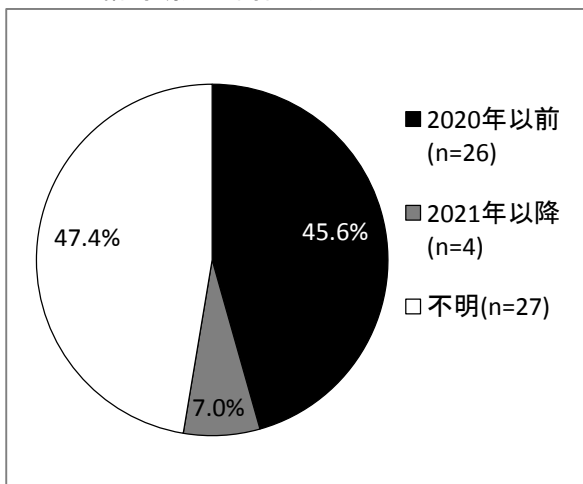
■ 高齢者、障害者等の利用しやすい客室の整備予定別の割合（n=606）



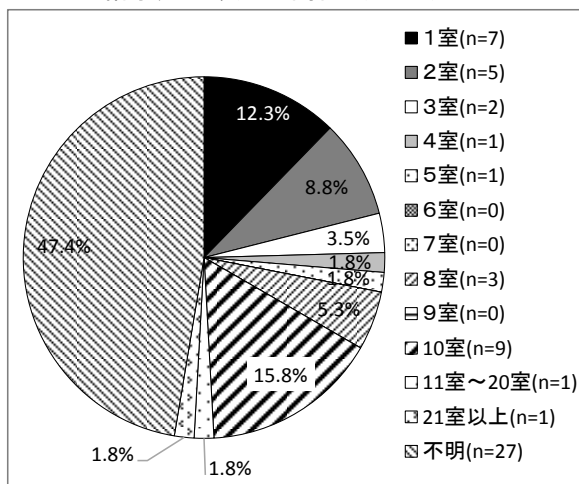
■ 高齢者、障害者等の利用しやすい客室の整備手法別の割合（n=57）



■ 高齢者、障害者等の利用しやすい客室の整備時期別の割合（n=57）



■ 高齢者、障害者等の利用しやすい客室の整備予定室数別の割合（n=57）

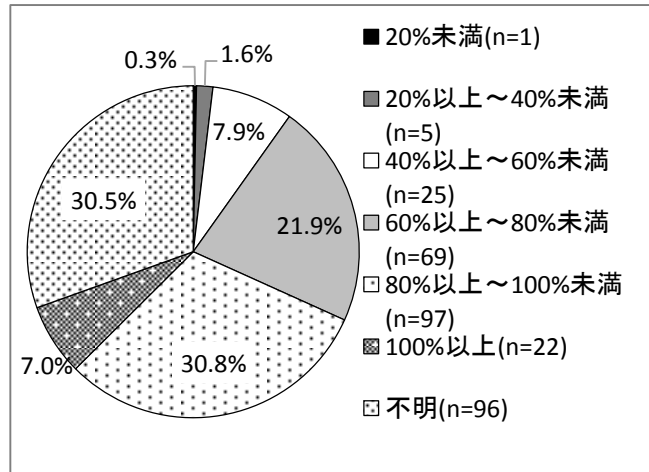


F. 客室の平均稼働率

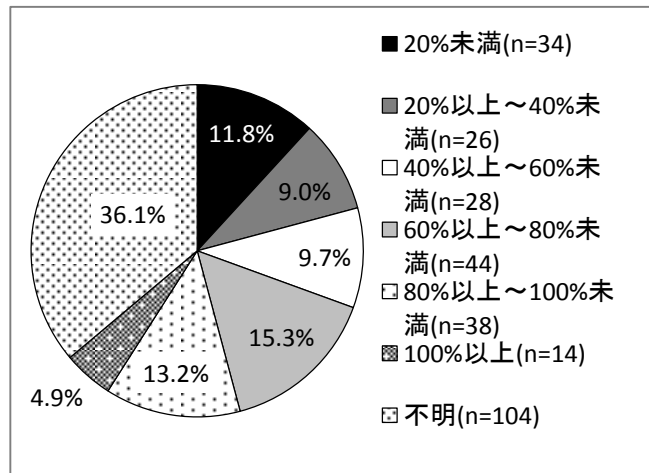
問 18 客室全体、UD ルーム、高齢者、障害者等の利用しやすい客室のそれぞれについて、平均稼働率（およその%）（問 12 で、UD ルームが『ある』、又は問 16 で高齢者、障害者等の利用しやすい客室が『ある』と回答した施設）

- 客室全体の平均稼働率は、「80%以上 100%未満」が最も多く（30.8%）、次いで「不明」が多い（30.5%）。
- UD ルームの平均稼働率は、「不明」が最も多く（36.1%）、次いで「60%以上 80%未満」が多い（15.3%）。
- 高齢者、障害者等の利用しやすい客室の平均稼働率は、「不明」が最も多く（35.9%）、次いで「80%以上 100%未満」が多い（17.9%）。

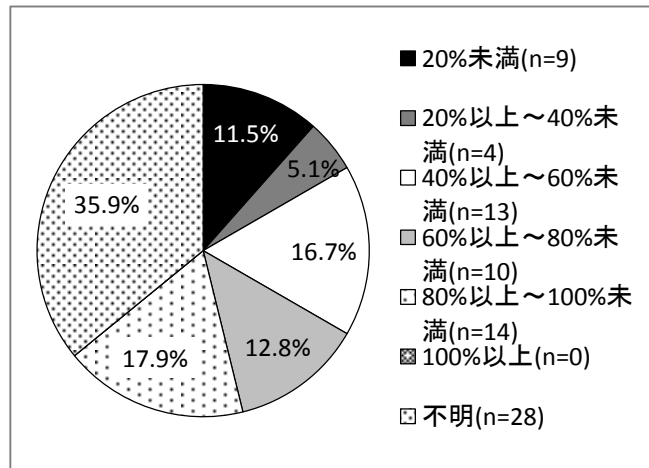
■ 客室全体の平均稼働率別の割合（n=315）



■ UD ルームの平均稼働率別の割合（n=288）



■ 高齢者、障害者等の利用しやすい客室の平均稼働率別の割合（n=78）

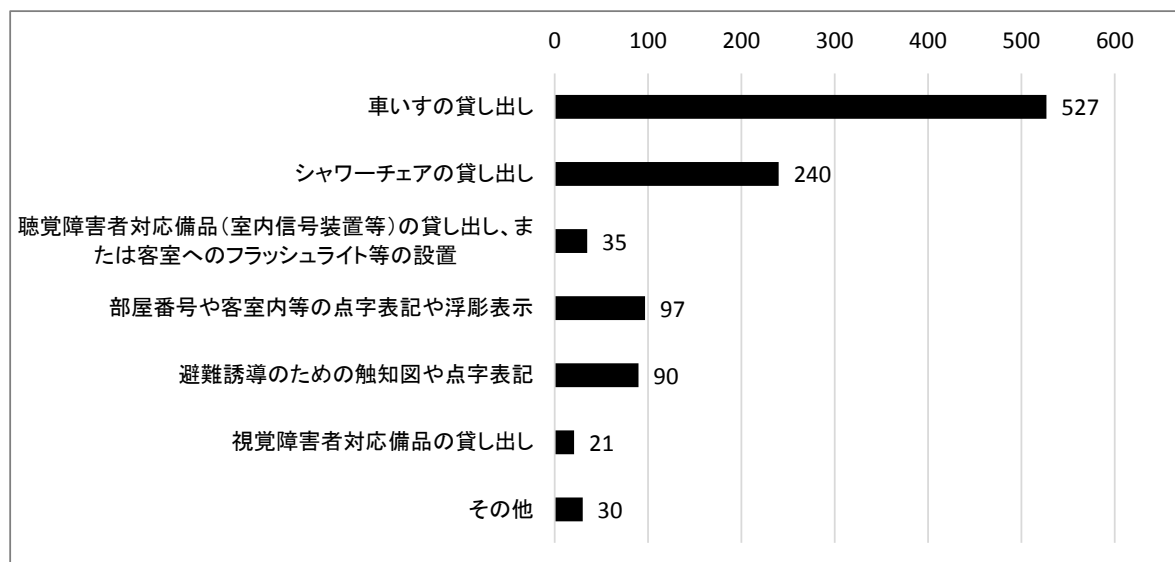


G. 備品の貸し出し、高齢者、障害者等への配慮

問 19 高齢者、障害者等（視覚障害者、聴覚障害者、補助犬利用者等）への配慮として、客室への貸し出しを行っている備品や対応

- ・ 「車いすの貸し出し」が最も多く（527）、次いで「シャワーチェアの貸し出し」が多い(240)。

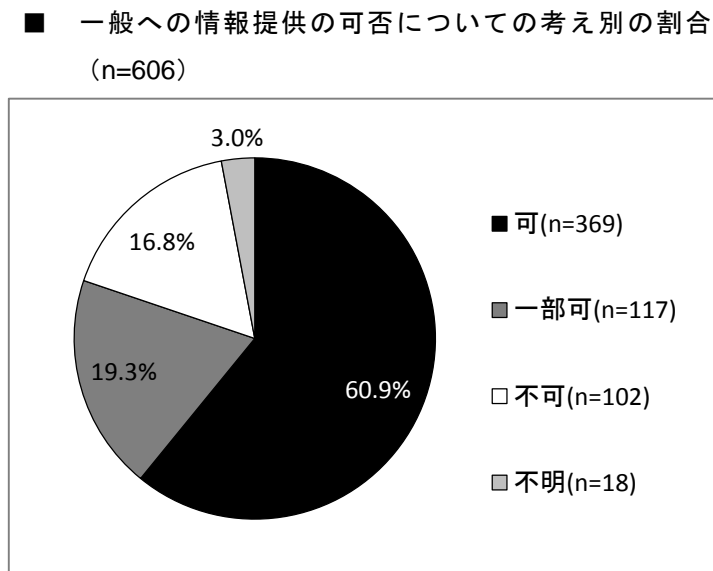
■ 客室への貸し出しを行っている備品や対応（n=606、複数回答）



H. 利用者への今後の情報提供に関するお考え

問 20 本アンケートの一部についての、一般への情報提供（ホームページへの一覧表掲載等）の可否についての考え

- ・ 一般への情報提供「可」が最も多く（60.9%）、次いで一部可が多い（19.3%）。



■ 参考：各団体のホテル又は旅館数

	会員数	ホテル又は 旅館数	備考
一般社団法人 日本ホテル協会	—	244	うち、休業3 会員数は、正会員、名誉会員、特別会員、 賛助会員がいるが、いずれも「人」
一般社団法人 日本旅館協会	2,662	2,662	会員数と旅館数はほぼ同数
一般社団法人 全日本 シティホテル連盟	213	807	会員ホテルは正会員 213 ホテルで、チェー ンホテル含め合計 807 ホテル
全国旅館ホテル生活 衛生同業組合連合会	会員数 47 都道府県 組合員数 15,344	15,334	「全旅連」は中央連合体であり、「会員数」 は 47 都道府県組合で、「組合員数」は、 15,334 (2016 年 12 月末現在)